

地域に寄り添い、街とともに考える、コミュニケーション誌

JFM だより

Vol. 43

September
2022

岩手県
宮古市

地域住民の行動範囲を広げる、 駅併設の新庁舎



INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 地域のために がんばる公営競技
- 07 JFM TOPICS
- 09 利用してみよう! 地方支援業務
- 11 みんな気になる、お金のこと
- 13 わたしのシゴト わたしのジモト
- 14 機構からのお知らせ
- 15 20年第100回地方公共団体金融機構
債券の発行にあたって
- 15 私たちもJFM債買っています!!
- 15 編集後記



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く
地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

JFMの貸付事業

JFMでは、長期かつ低利な資金を地方公共団体に融資することで、地方公共団体の財政の健全な運営及び住民福祉の増進に貢献しています。

詳細はp.03



T A R O U S O U G O U J I M U S H O C H O U S H A

田老総合事務所庁舎

東日本大震災により大きな被害を受けて以降、
着実に復興の歩みを進めてきた宮古市田老地区。
このまちの行政サービスの拠点となっているのが
三陸鉄道リアス線新田老駅と併設する
「田老総合事務所庁舎」です。





庁舎入口の庇＊多く人の目に触れられる庁舎入口の庇には、温かみのある木材を使用しています。



1階フロア＊庁舎内に点字ブロックを設置し、目の不自由な方でも利用しやすいよう配慮しています。



受付窓口＊戸籍・住民基本台帳・国民年金・市税・保険等受付・医療給付・福祉・相談窓口などの各種行政サービスを提供しています。



エレベーター＊旧庁舎にはなかったエレベーターを設置するなど、バリアフリー化が図られています。



スロープ＊庁舎入口にスロープを設置し、車椅子の方でもご来場いただきやすい施設になっています。



レンタサイクル＊自転車の貸し出しサービスを実施しており、観光客の方などに好評いただいています。



連絡通路＊施設の3階には新田老駅のホームに直結する連絡通路があり、庁舎から雨に濡れずに電車を利用することができます。



毎年11月下旬に開催される田老地域の一大イベントが「鮭・あわびまつり」です。多い年で2万人を超える来場者があり、地域外から新田老駅を利用して訪れる方も数多くいらっしゃいます。



鉄道駅と併設した行政サービス拠点

平成23年3月11日に発生し、東日本を中心に各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災。三陸沿岸に位置する宮古市田老地区も、この未曾有の災害により大きな被害を受けました。以降、住民の減少や、震災を機に整備された交通ネットワークなど、地域の環境が大きく変わる中、令和2年5月18日に田老総合事務所庁舎は供用開始しました。

同じ日に開業した三陸鉄道リアス線新田老駅との複合施設であることが、この庁舎の最大の特徴です。地域の新たな玄関口となる鉄道駅と併設し、商工会議所の支所や金融機関も入居することで、住民生活の利便性の向上が図られています。また、旧庁舎にはなかったエレベーターやスロープなどを設置するなどバリアフリー化に努め、障がい者や高齢者も利用しやすい施設になっています。さらに、庁舎入口の庇や外部通路部、3階ホールに木材を多く使用。温もりと親しみのある施設となるよう設計されており、令和2年度「いわて木材利用優良施設コンクール」において、奨励賞を受賞しています。

田老総合事務所 概要 所在地：岩手県宮古市田老1-3-4／ 供用開始：令和2年5月／ 敷地面積：593㎡／ 構造：一部3階建、鉄筋コンクリート造（一部木造、鉄骨造）

地域住民の行動範囲を広げる、駅併設の新庁舎

令和2年5月、三陸鉄道リアス線新田老駅との複合施設として

供用開始した田老総合事務所庁舎。

同事務所の所長を務める齊藤清志さんに建設の経緯などを伺いました。



宮古市 企画部 田老総合事務所

齊藤 清志 所長

≫ 安心感と信頼性のあるJFMの融資を活用

宮古市は平成の大合併の中で、新たな地域発展の飛躍を図るため、平成17年に宮古市と田老町、新里村の3市町村、そして、平成22年に宮古市と川井村の合併を経て、現在に至っています。旧田老庁舎は昭和46年に建設された施設で老朽化が進んでおり、耐震強度の面でも問題を抱えていました。耐震改修を行うことも検討しましたが、築年数が経過していることや、市町村合併により、庁舎に勤務する職員が減少したことに伴い、適正な施設規模での維持管理が必要であったことなどから、移転のうえ、新庁舎を建設することとなりました。

JFMの融資を活用した理由は、庁舎の整備であり償還年数が長くなることから、低金利かつ長期的に利用できる融資である必要があったからです。さらに、金利リスクの軽減に努めるなど組織としての安心感もあり、普段の借入業務でも親身になってご対応いただくなど信頼性が高かったことも要因となりました。

≫ 地域住民の生活や心の支援の一翼を担う施設

東日本大震災により発生した津波は田老地区に大きな被害をもたらし、1,000棟を超える建物が被害を受け、浸水区域内の建物の80%以上が流失または撤去となりました。新庁舎を三陸鉄道リアス線新田老駅との複合施設とした理由も、津波被害により地域住民の住宅立地場所が大きく変化したため、地域住民の生活の利便性を高める必要があったからです。

宮古市では震災以降、復興に向けた取組を一つひとつ着実に進め、ハード事業は概ね終了しました。しかし、被災者の生活に関わる支援や心のケアはこれから先も継続していかなければなりません。田老総合事務所庁舎は、そうした地域住民の生活や心の支援の一翼を担う施設だと考えています。現に、新庁舎及び新田老駅が完成したことにより、三陸鉄道を利用して外出する地域の方が増えてきており、地域住民の行動範囲が広がるきっかけとなっています。これからも地域の方々の生活を支え続けていきたいと思っています。



* 三陸鉄道利用者ノート

新田老駅のホームに直結する連絡通路付近には三陸鉄道利用者ノートが置かれています。地域の方々や観光客など新田老駅を利用する方々のコメントが寄せられています。

本件で活用いただいた制度

合併特例事業

合併した市町村が行う市町村建設計画に基づく事業や、都道府県の構想に位置づけられた市町村の合併に伴い必要となる事業です。上水道、下水道及び病院事業について、合併に伴う増嵩経費に対する一般会計からの出資や市町村振興のための基金造成等も対象となっています。

JFMスタッフ Message

田老総合事務所庁舎移転にあたりご活用いただいた合併特例事業につきましては、令和3年度は、JFMから全国の地方公共団体に対し、総額914億円の貸付けを行いました。JFMでは、電子申請・通知システムによる借入申込事務のオンライン化により、効率化に取り組んでいます。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各都道府県担当までご相談ください。よろしくお願いいたします。



融資部融資課 岩手県担当
奥石 大地

岩手県宮古市のまちづくり



「産業振興」と「教育振興」が市の最重点施策です。

宮古市は東日本大震災により多大な被害を受け、多くの尊い命や貴重な財産が失われました。以降10年以上にわたり復興へ向けた取組を計画的に進めているものの、さらなる市の発展のためには、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができるまちづくりや、地域社会を担う多様な人材の確保、魅力ある就業機会の創出などの取組が必要です。現在では「産業振興」と「教育振興」を市の最重点施策として位置づけ、市民が安定した仕事をもち、子どもを幸せに育てられる環境づくりを推進しています。

行政 Pick Up !

「浄土ヶ浜のいいイロ」プロジェクト

シティプロモーションの一環として、地域資源を「地域色」と定め、活用を広げる取組を行っています。令和3年度に市民参加型で「浄土ヶ浜」をテーマにした「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を地域色として決定し、宮古市の魅力を全国に発信しています。



庁舎探訪

宮古市役所の庁舎を訪問しました。職員の皆さまの業務の様子などをレポートします。



平成30年に市本庁舎、保健センター、市民交流センターからなる複合施設「イーストピアみやこ」が開設。防災・市民サービス・賑わいの拠点となっています。



お子さんも安心して遊べる「ふれあいひろば」をはじめ、さまざまな市民向けの設備を設置しています。



宮古市 総務部 財政課と観光課の皆さん



宮古市は本州最東端に位置し、ご当地グルメの「瓶ドン」や、「浄土ヶ浜」「三王岩」といった景勝地が全国的にも有名な観光資源に恵まれたまちです。田老地区で実施している「学ぶ防災ガイド」をはじめ、震災の教訓を後世に伝える取組にも注力しています。



〔人口〕

48,310 人



〔世帯数〕

23,023 世帯



〔面積〕

1,259.15 km²

(令和4年9月1日現在)



宮古の代表的な景勝地
「浄土ヶ浜」



テレビやSNSで話題沸騰
「瓶ドン」



圧倒されんばかりの壮観さ
「三王岩」

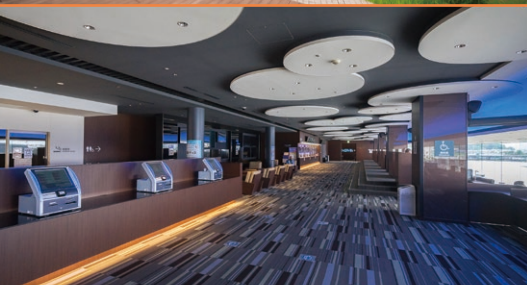


令和4年7月運行開始の遊覧船
「宮古うみねこ丸」

地 域 の た め に

がんばる 🖐️ 公営競技

□ 競馬 □ 競輪 □ オートレース ■ ボートレース



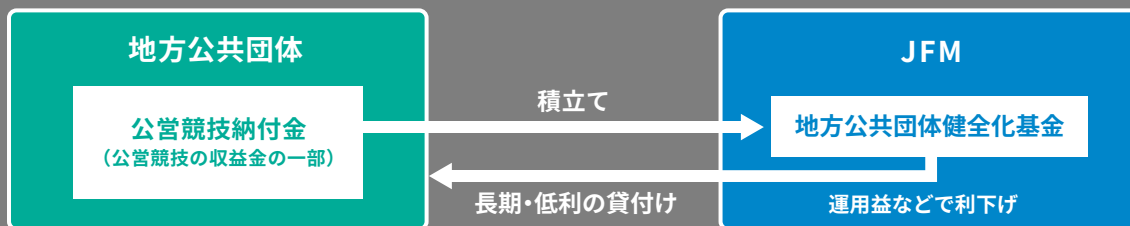
世代を問わず愛されるボートレースのテーマパークに

ボートレース蒲郡

潮の流れや干満差の影響を受けづらく、白熱したレースを楽しめるボートレース蒲郡。
迫力満点のレースを至近距離で楽しめる、観覧エリア「スプラッシュゾーン」が人気です。
近年では、施設の充実などを通じ、幅広い年齢層から愛されるボートレース場へと進化しています。

公営競技とJFMの関係

JFMでは、公営競技の収益金の一部を受け入れて運用し、地方公共団体へ融資する際の利下げ財源として活用しています。



収益向上を目指して

初心者や子どもも楽しめる施設へ

新型コロナウイルスの影響でお客様に来場いただけない時期が長く続きましたが、これからは実際に来場してボートレースを間近で楽しんでもらいたいと考えています。初めての方にもご満足いただけるよう、案内役として「ムーンライトガール」を指定席エリアなどに配置。会場案内はもちろん、舟券の買い方、予想のお手伝いまで幅広くサポートします。今後は子どもがのびのびと遊べる「ボートキッズパーク モーヴィ」のオープンを予定しており、今までボートレースに馴染みがなかった方にも楽しんでいただける体制を整えています。



ボートレース蒲郡 最高財務責任者(CFO)
井澤 勝明 CFO

収益向上のための取り組み

全国売り上げ1位のきっかけに



ムーンライト レース



ボートレース蒲郡では、平成18年からオールナイター開催を実施しています。これがきっかけとなり、平成20年度には全国売り上げ1位を達成しました。以来、ボートレース蒲郡を象徴する存在となっています。15時ごろからレース開始となり、平日でも夕方から仕事終わりのお客様で賑わいます。コロナ禍でインターネット投票も増えましたが、そちらも夕方以降の売り上げが好調です。

舟券予想からレースの舞台裏まで



公式YouTube チャンネル



公式YouTubeチャンネルは2015年4月からスタートし、現在は登録者5万人。当初はピット内の選手へのレース前インタビューなど、ボートレースファンに向けた動画が中心でした。コロナ禍以降はファンの舟券予想の手助けをするライブ配信番組や、パチンコライターたちによる予想バラエティなど、自宅でもボートレースを楽しんでいただけるコンテンツも配信しています。

舟券購入・的中でポイントが貯まる



eじゃんカード



eじゃんカードは、現金をチャージして舟券を購入でき、予想的中すると払い戻し金も反映されるキャッシュレスカードです。購入時、的中時にポイントがつき、次の舟券購入やオリジナルグッズとの交換に利用できます。また新規入会キャンペーンや、普段よりもお得にグッズと交換できるポイント交換キャンペーンなどを行うことで、お客様の満足度向上に努めています。

令和3年度「財政状況ヒアリング」結果のご紹介

地方公共団体金融機構が令和3年度に実施した財政状況ヒアリングの結果についてご紹介します。

財政状況ヒアリングとは？

地方支援業務の拡充・改善を目指し、地方公共団体の財政運営上の課題などを聞き取る

JFMでは、毎年、「地方金融状況調査」（令和4年度から「地方財務状況調査」に名称変更）を実施しています。この調査は、貸付金の利用状況を確認する「貸付金使途状況調査」や、各団体の財政運営等について聴取する「財政状況ヒアリング」等で構成されています。このうち、「財政状況ヒアリング」は、地域の課題や対応事例を聴取するとともに、意見交換を通じて地方のニーズの把握及び先進事例の収集を行い、JFMの地方支援業務の積極的かつきめ細かな展開に結び付けることを目的として実施しています。

なお、例年は、JFMの職員が調査対象団体を直接訪問し、対面形式で実施しているところですが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、前年度に引き続きオンライン会議形式で実施しました。

財政状況ヒアリング（令和3年度）の概要

実施時期	令和3年9月～11月
調査団体	71団体（11都道府県、6政令指定都市、54市区町村）
ヒアリングの内容	問1 地域の課題等について 現在直面する課題、課題への対応として実施中または近年実施予定の事業、財政運営上の課題、予算編成及び執行時に留意・工夫している点 問2 公共施設等の適正管理・地方公会計について 公共施設等の適正管理に関する課題、「統一的な基準による地方公会計」の活用に関する課題 問3 公営企業・第三セクター等の経営健全化について 経営健全化の取組内容、公営企業会計の適用、「経営戦略」の策定状況及び推進していく上での課題

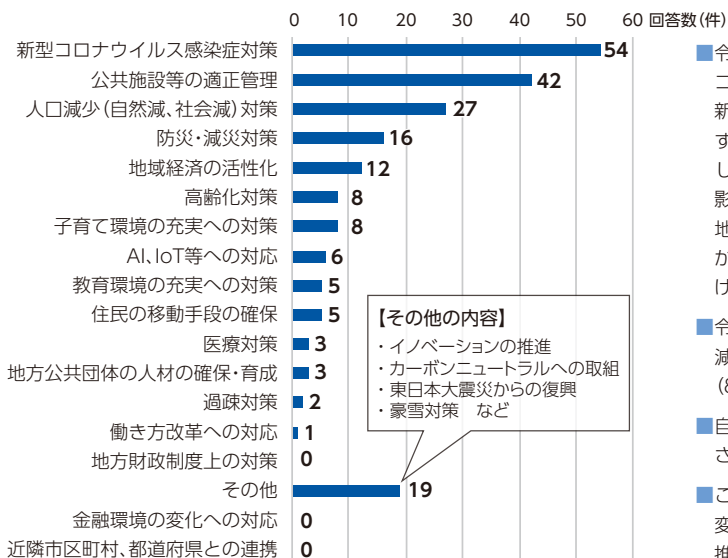
令和3年度 財政状況ヒアリングの結果概要

令和3年度に実施した財政状況ヒアリングの結果のうち、主なものについて、概要をご紹介します。

※結果の詳細については、一般財団法人地方財務協会発行の雑誌「公営企業」（令和4年9月発行）に掲載する予定ですので、そちらをご覧ください。

ヒアリング結果1 現在直面する課題 71団体：全211件

※優先度の高い課題を3つまで複数回答可



■令和2年度に引き続き、直面する課題として最も多かった回答は、『新型コロナウイルス感染症対策』（54件）であった。観光業が盛んであったり、新型コロナウイルス感染症の影響で減収となった法人が立地していたりする団体を中心に、「税収の落ち込みがある」との回答が目立ち、依然として新型コロナウイルス感染症が個別の自治体の行財政運営に大きな影響を与えている様子が伺えた。一方で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の措置により、「一般財源の持ち出しはほとんどなかった」等の声があり、団体の財政への影響は抑えられていた様子が見受けられた。

■令和3年6月に最新の国勢調査の速報値が公表され、多くの団体で人口減少がみられたことに伴い、『人口減少対策』（27件）や『高齢化対策』（8件）を課題に挙げる団体が多く見られた。

■自然災害が相次ぐ昨今、災害に強いまちづくりを進める必要性が意識され、『防災・減災対策』（16件）を課題と捉える団体も見られた。

■このほか、新型コロナウイルス感染症の拡大や教育環境の変化等、移り変わる社会情勢への対応として、デジタル化の推進やイノベーションの推進に取り組む団体も見られた。

JFMの事業内容

をもっと詳しく知りたい方は
業務案内パンフレット



JFMの事業実績

をもっと詳しく知りたい方は
ディスクロージャー誌



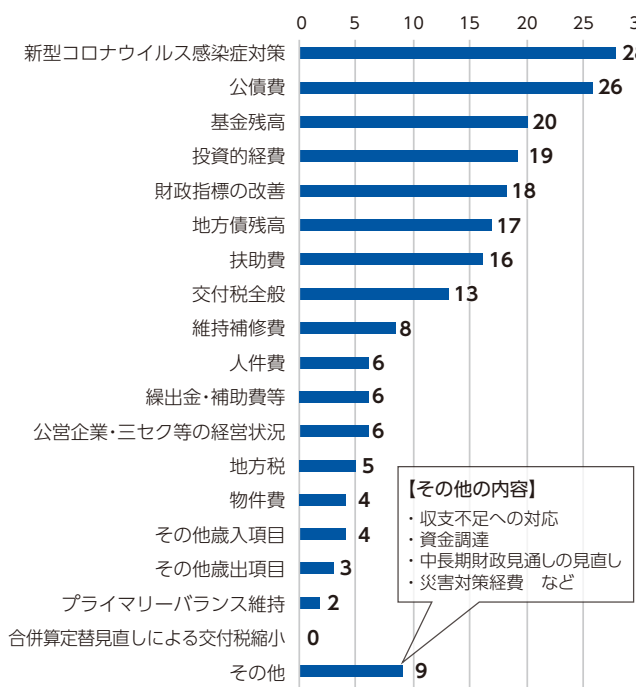
JFM 刊行物

検索

最新版のPDFを
ダウンロードできます！

ヒアリング結果2 財政運営上の課題 71団体:全210件

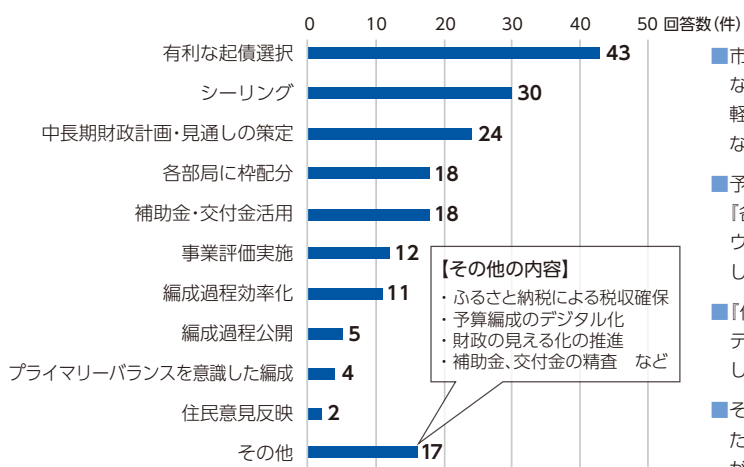
※優先度の高い課題を3つまで複数回答可



- 前問と同様、『新型コロナウイルス感染症対策』(28件)が最も多い回答であり、長引く感染症の影響を加味しながらの予算編成や財源確保等の対応に苦慮する団体が多く見られた。
- 『公債費』(26件)や『投資的経費』(19件)との回答も多く、『公共施設等の老朽化に伴って大型建設事業の実施が増加している』等の声が多く聞かれ、償還年限や借入先など資金の借入方法を見直して公債費の増加抑制に努める、とする団体もあった。
- 高齢化の進行に伴う医療・介護等に係る経費の増加や、子育て世帯・生活困窮者・障がい者等幅広い支援の必要性が高まっている昨今において、『扶助費』(16件)の増加を課題として捉える団体も多かった。
- 『交付税全般』(13件)と回答した団体は、地方交付税が収入の多くの部分を占めている団体が多く、令和3年度に交付税算定の基準となる国調人口が切り替えられたことによる減額の影響を不安視する声や、『合併算定替の特例加算がなくなったことによる減額への対応を行う必要がある』との声などが聞かれた。

ヒアリング結果3 予算編成及び執行時に留意・工夫している点 71団体:全184件

※3つまで
複数回答可



- 市区町村を中心に、『有利な起債選択』(43件)との回答が最も多く、可能な限り交付税措置がある起債を選択し、後年度の公債費負担を少しでも軽減しようという姿勢が見られた。『交付税措置のない起債は原則借入れない』という団体も複数あった。
- 予算編成の際には、厳しい財政状況を踏まえ、『シーリング』(30件)や『各部局に枠配分』(18件)を実施している団体が多くあった。新型コロナウイルス感染症による財政への影響を踏まえ、新たにシーリングを開始した団体も見られた。
- 『住民意見反映』(2件)と答えた団体は、『職員が市内各地でタウンミーティングを行い、そこで出た意見や要望を踏まえて担当課が予算要求をしている』など、それぞれ特色ある取組を行っていた。
- そのほか、銀行等引受債の借入れの際には、少しでもいい条件で借入れるため、見積り合せを実施している団体や、公開で入札を実施している団体が見られた。

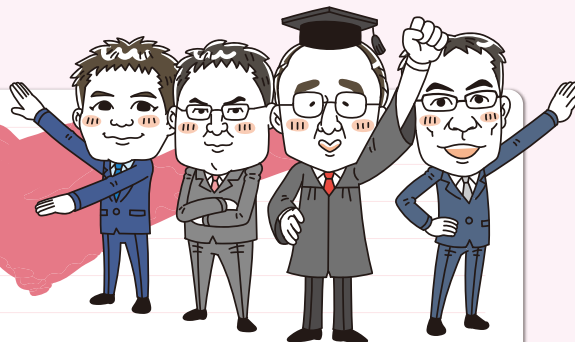


地方公共団体の
皆さまへ

財政状況ヒアリングについては今後も実施することになっており、その結果は「JFMだより」等を通じてフィードバックを行っていく予定です。お忙しいところ地方公共団体の皆さまのお時間を頂戴し誠に恐縮ですが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

利用してみよう！

地方支援業務



JFMの地方支援部では、資金調達をはじめとした
地方公共団体の財政運営全般にわたり、各種事業を実施しています。
皆様の疑問・要望にJFM職員がお答えします！

財政運営の「良き相談相手」
JFM地方支援部



今いる場所で可能な時間に学習したい！

ぜひご利用
ください！



eラーニングについて

コンテンツの追加・過去の講義配信を開始

令和4年9月より順次新たなeラーニングコンテンツの配信を開始します。また、令和3年度に配信した先進自治体の取組の動画について、オンデマンドによる配信を開始しました。いずれも皆様が抱える課題に関して気づきが得られるコンテンツとなっています。

JFM eラーニングの特徴

- いつでもJFMホームページで申込可能
- 申込翌日から受講可能
- 先進自治体の取組に関する過去の講義動画を保存・配信 **R4年度NEW!**
- 無料
- 講義単位で受講可能

追加コンテンツ

基本的制度や先進自治体の取組に関する講義などを追加しました。
令和4年10月以降も総務省や先進自治体による講義、簿記・公会計などの講義を追加します。

基本的制度	①「地方債制度」(eラーニング用独自コンテンツ) 近々配信予定! ②「地方公営企業の財務会計制度」(公認会計士による講義) 配信中!
制度の現状と課題	③「公営企業の新経営手法」 (早稲田大学水循環システム研究所准教授・商学学術院兼任 佐藤裕弥氏) 配信中!
先進自治体の事例	④「岩手県企業局の工業用水道事業に係る事業統合等について」(岩手県) 配信中! ⑤「妙高市の公営ガス民営化+上下水道事業のPPP(包括委託)」(妙高市) 配信中!

過去の講義を配信開始

令和3年度に配信した先進自治体の取組に関する講義をオンデマンドで視聴できるようにしました。eラーニングと同様の手続きでお申し込みください。

講義名	自治体名
和泊町における公会計の活用について	鹿児島県和泊町
公共施設更新問題への対応について -秦野市の取組みと日本のハコモノ事情から-	神奈川県秦野市
中空知広域水道企業団経営戦略の策定経過とポイント	北海道中空知広域水道企業団
地方公営企業法の適用に係る取組について	兵庫県香美町
宮城県上地下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)について	宮城県
AIを活用した水道管劣化予測について	愛知県豊田市
下水道管路の包括的民間委託について	千葉県柏市

最新の情報はJFMのホームページでご確認ください。

<https://www.jfm.go.jp/support/e-learning/e-learning.html>

JFM eラーニング

検索

※お申し込みも受け付けています。

お問い合わせはこちらから

調査企画課：03-3539-2676

chihoushien@jfm.go.jp



自団体の課題・ニーズに応じて研修・支援をしてほしい！

講師の謝金・旅費
は不要です！



出前講座について

----- 講義内容を選べるオーダーメイド型講座 -----

金融機関出身の自治体ファイナンス・アドバイザー等が、団体の要望に応じたテーマ・方法で講義を実施します。講師派遣またはWEB会議システム等によるオンライン形式での対応が可能です。

講義テーマ(一部)

※詳細はJFMのホームページをご覧ください。

資金調達

地方債の金利総論 [1～1.5時間程度]

地方財政と地方債制度 [1～1.5時間程度]

地方債の借入交渉 [各テーマ30～60分程度]

・借入期間と固定金利方式 ・金利見直し方式
・基準金利の考え方 ・据置期間 ・債権譲渡 ・入札方式

資金運用

資金運用のリスクと管理 [1～3時間程度]

・資金運用のリスクと留意点 ・金融商品のリスクと管理 ・資金運用への取組

銀行を理解しよう [1～2時間程度]

財政関連

財政分析と地方債管理 [1.5時間程度]

公会計導入と公会計決算の見方 [1.5～2時間程度]

財政収支見通しと人件費の長期推計 [1～1.5時間程度]

公営企業改革と公営企業決算の見方 [1.5～2時間程度]

その他

日本経済と金利の動向 [1～2時間程度]

銀行を巡る規制 [1時間程度]

資金調達手法の多様化 [1時間程度]

実務支援について

----- 課題解決に向けた専門的なアドバイスを実施 -----

金融機関出身の自治体ファイナンス・アドバイザー等が、地方公共団体の課題や疑問の解決に向けて専門的なアドバイスを実施します。講師派遣、電話・メール、WEB会議システム等によるオンライン形式での対応が可能です。

【過去に相談をいただいた事例の一部】

Q

当市では10年固定金利方式の借入れを行いたいですが金融機関からは5年金利見直し方式の借入れの提案を受けている。金利見直し方式のメリットと契約に当たって留意すべき事項は？

A

金利見直し方式を導入すると、固定金利方式よりも一般的には低い当初金利で借りられるはずですが、一方で、見直し時の金利が上昇し、最終的な金利負担が固定金利方式で借入れた時よりも増える可能性もあります。契約に当たっては、見直し後の金利設定について、あらかじめ客観的なルールを決めておくことが望ましいでしょう。

このように
ご回答
しました！



申し込み方法などはJFMのホームページでご確認ください。

 <https://www.jfm.go.jp/support/development/index.html>

JFM 人材育成・実務支援

検索

※受講を検討される場合、電話またはメールで遠慮なくご相談ください。

お問い合わせはこちらから



ファイナンス支援課:03-3539-2677



finance@jfm.go.jp

[今回のテーマ]

LIBORの廃止と代替金利

2021年12月末に廃止されたLIBORの代替となる金利を紹介するナンス。



ちょこっと、ファイナンス MEMO ①

LIBORではロンドン市場に参加する主要な銀行が運営期間に申し出た貸出金利から上下を除いた平均を算出して公表されていたナンス。実際に貸し借りをする時にはLIBOR+ $\alpha\%$ (α は上乗せ金利)のように個別の交渉結果を反映して金利を決定するナンス。

LIBORの代わりになる金利ってナニナニ?
民間資金の借入交渉ではこれから何を参照すればいいの?



LIBORとは?

LIBOR(ライボー)とは、London Interbank Offered Rate の略で、ロンドン市場での銀行間取引金利のことです。(MEMO①)お金の貸し借りにおける金利の高低を計る「ものさし」となるような市場金利として世界中で使われてきましたが、日本円のLIBORは2021年12月末で恒久的に公表停止(つまり廃止)されました。(MEMO②)

その結果、地方公共団体が民間金融機関からお金を借りる時、参照するのに適したLIBORスワップレートという市場金利もなくなってしまいました。公的資金の借入では今も昔も国債金利が参照先として適切ですが、民間資金の借入交渉ではこれから何を参照すればよいのでしょうか?



ちょこっと、ファイナンス MEMO ②

2012年に一部の銀行がLIBOR金利を不正に操作していたことが発覚して大スキャンダルになったナンス。抜本的な改善が検討されてきたナンスが、不正をなくす仕組みづくりが難しい上に、リーマンショック以降、前提になっていた金融機関同士の無担保貸し借りが減ってしまい、指標としての有効性に疑問が出たことも廃止の理由になっているナンス。

なお、日本円を含む5つの通貨(米ドル、英ポンド、日本円、ユーロ、スイスフラン)で運用されていたナンスが、米ドル以外では、既に廃止され、米ドルも2023年6月末に廃止予定ナンス。

LIBORの代替となる金利は?

LIBORは1年以下の金利の指標であり、主に一時借入金や変動金利の借入などの「ものさし」として使われてきました。(MEMO③)廃止されてからは、以下の3つの市場金利が主に使われています。金融機関により対応の可否が異なりますので、まずは交渉してから判断してください。

【短期①】TIBOR(タイボー)

Tokyo Interbank Offered Rateの略で東京市場での銀行間取引の金利です。LIBORのロンドンを東京に置き換えたものです。(MEMO④) TIBORにはZTIBOR(ユーロ円TIBOR)とDTIBOR(日本円TIBOR)の2種類がありますが、2024年末にはZTIBORは廃止予定であることから、今後はDTIBORが主流になると思われます。

【短期②】TONA日次複利計算(トナー) ※「TONAR」と綴ることもあります。

Tokyo Overnight Average rateの略です。TONAは実際に膨大に行われている翌日物金利の取引です。その結果を日々積み重ねていき日次複利方式に事後的に換算したものが、この市場金利です。実績に基づいているため、貸出金利は、返済直前にならないと決められません。利息後決めと呼ばれるこの性質のため、利便性の点で著しく不利であり、地方公共団体との短期取引ではあまり普及しようにありません。

【短期③】TORF(トーフ)

Tokyo Term Risk Free Rateの略です。前述のTONAの利息後決めの欠点を補うため、金融工学を使って利息前決め(借りる前に金利を決める)に換算した金利です。取引の事例が少なく発展段階にあるといえます。



ちょこっと、ファイナンス MEMO ③

円金利LIBORでは1日、1週間、1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月の7種類の期間金利が公表されていたナンス。これらは、都道府県や政令市などが仕組債や外債を取引する時にも使われることがあるナンス。



ちょこっと、ファイナンス MEMO ④

LIBORと同じように金融機関の申し出に基づいて算出する仕組みのため、不正を防ぎにくい性質が残っているナンス。そこで金融庁はTIBORの指標作成を監督下に置くとともに、TIBOR運営機関を全銀協から独立させ、理事の過半数を銀行以外の者としたナンス。さらに各銀行にはそれぞれの実取引に基づいた金利呈示ルールを守らせる対策を加えることで継続が決まったナンス。

長期金利への影響は？

地方公共団体にとって影響が大きいのは、多くの地方債で使われる長期(1年超)の固定金利の方でしょう。一見、短期のLIBORがなくなっても長期金利には影響がないように思われるかもしれませんが、民間金融機関では変動金利と固定金利を交換する金利スワップレートを「ものさし」にして長期の固定金利貸出を行っている場合が少なくないのです。**(MEMO⑤)**もし、変動金利にLIBORを使っていた場合は、今までと同じやり方では、固定金利を決められなくなってしまいました。金利見直し方式の場合で、見直し後の金利についてLIBORスワップレートをを使って決定するとあらかじめ約束していた場合は、相手の金融機関と話し合っただけのいく市場金利を決めなおさなければなりません。どの市場金利を使うかは金融機関によって異なりますので、まずは金融機関と交渉してから判断するようにしてください。

※JFMでは、金利見直し方式の交渉で相談を受けた際、過去数年間にわたって、LIBORスワップレートを参照しながら交渉することをお勧めしてきました。しかし、その市場がなくなるといふまさかの事態が起こってしまいました。未来を見逃せなかった点について反省しおわびします。

【長期①】TIBORスワップレート

地方公共団体にヒアリングした時に最も多く使われていたのは、TIBORスワップレートでした。ロンドン市場の金利がなくなったので東京市場に置き換えるというのは、当面の対策として分かりやすく無難な選択であると思われます。数年後の見直しを考慮するならば廃止が予定されているZTIBORよりもDTIBORを材料にした金利スワップレートを選ぶ方がよいでしょう。

【長期②】TONAスワップレート

※Overnight Index Swap, OIS, TONA東京スワップレート、TONA TSRなど、略号も含めて名称がまだ定まっていません。

金融機関というプロ同士の金利スワップ取引ではこの市場金利が主流となっています。そのため仕組債やデリバティブを取引している地方公共団体は、この市場金利での取引になる可能性が高いと思われます。固定金利は借りる前に金利が決定されるため、金利後決めのTONA【短期②】よりは使いやすいと思われます。**(MEMO⑥)**なお、スワップで広く使われるようになってから日の浅い新しい市場金利のため、過去数年分の実績を使用することが適切な時系列比較にはあまり向いていません。また、仕組み上、LIBORよりも市場金利が低く出ることが想定されています。そのため、金融機関はLIBORの時よりも大きい上乗せ金利を求めてくると思われます。都道府県や政令市といった市場公募債を出している地方公共団体を中心にこの市場金利の利用が広がっていくのではないかと考えられます。

【長期③】TORFスワップレート

短期のTORF以上に取引が薄い状況です。現時点ではあまりお勧めできません。

【長期④】その他の金利

④-1 国債金利

民間資金では市場金利としてほとんど使われていません。ただ、財務省のWEBサイトから過去データも含めて無料で入手できるというメリットがあります。長期金利の時系列傾向をつかみたいという目的であれば、他の方法よりも手軽に利用できます。

④-2 財政融資資金貸付金利、④-3 共同発行市場公募地方債(共同債)の金利

この金利は国債金利にほぼ連動して動きます。民間金融機関の方には市場金利としてこれを使う動機がほとんどないのが実情です。

各市場金利を見る方法は？

市場金利を確認する最も確実な方法はBloomberg社、Refinitiv社(旧ロイター社)、QUICK社などといった情報提供会社のサービスを使うことです。最新情報だけでなく過去の履歴など多くの情報を入手できますが、すべて有料のサービスです。ここではスピードや内容に制約はあるものの無料で手に入るWEBサイトをご案内します。

長期/短期	項番	名称	URL	コメント
短期	①	TIBOR	https://www.jbatibor.or.jp/rate/	全銀協TIBOR運営機関のサイト。過去履歴も含めて無料で入手可。
短期	②	TONA日次複利計算	https://moneyworld.jp/page/tona.html	QUICK社のサイト。当日金利のみ公開。
短期	③	TORF	https://moneyworld.jp/page/torf.html	QUICK社のサイト。1日前から5営業日前まで入手可。
長期	①	TIBORスワップレート	https://uts.traditionasia.com/	上田トラディション証券のサイト。当日金利のみの公開。「当社のLIBOR TRANSITION関連データの提供とその詳細」をクリック。
長期	②	TONAスワップレート		長期①はDTIBOR SWAP Specifications、長期②はOIS SpecificationsのMIDレート部分がそれぞれ該当。
長期	③	TORFスワップレート	—	取引が少なく無料情報も見当たりません。
長期	④-1	国債金利	https://www.mof.go.jp/jgbs/reference/interest_rate/index.htm	財務省のサイト。過去履歴も含めて無料で入手可。
長期	④-2	財政融資資金貸付金利	https://www.mof.go.jp/index.htm	財務省のサイト。財務省のトップページから「トップページ」>「財務省の政策」>「財政投融資」>「関連資料・データ」>「財政融資資金預託金利・貸付金利」のページに移動すれば、過去履歴も含めて無料で入手可。
長期	④-3	共同発行市場公募地方債	http://www.kyodohakko.jp/jisseki.html	共同発行団体連絡協議会のサイト。過去履歴も含めて無料で入手可(地方債協会や日本証券業協会のサイトにも情報があります)。

ちょこっと、ファイナンス MEMO ⑤

LIBORスワップレートはPFI事業のサービス対価を割賦払いする時の計算金利など、あまり目立たないところにも使われていることがあるナンス。それぞれ個別に代替交渉が必要ナンス。

ちょこっと、ファイナンス MEMO ⑥

短期金利の利息後決めの欠点は、金融機関というプロ同士の取引では大したハードルにはなっていないナンス。地方公共団体にとってはでき上りの固定金利について納得する交渉を行えばよいと思われるナンス。

ナイス質問で
ナンス!



今回のテーマについて、ご不明点やご相談等ありましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

地方支援部
ファイナンス支援課



03-3539-2677





わたしのシゴト

地方公共団体から派遣され、JFMで活躍している職員が、

派遣元
▼
三重県津市



資金部
資金課
丸田 隆史

国内外の投資家の方々との交流が 新たな学びにつながっています。

資金課では、配属当初にグリーンボンドのレポーティング作成や国外債券発行による資金調達を担当し、現在は国内債券発行による資金調達とIR(投資家に向けた広報)を担当しています。国内外の投資家の方々とのIRを通じた意見交換の中で、新たな学びを得ています。時には慣れない業務に壁を感じたり、初めて聞く金融の専門用語に苦労したりすることもあります。資金課の皆さんに支えられ、充実した日々を送っています。

また、全国の自治体、総務省、プロパー、金融機関出身の方との交流に加え、さまざまな研修を通して各自治体の課題や新たな取組について触れる機会があり、自分の視野を広げることができていると感じます。残りの派遣期間もしっかり学びたいと思います。

私のふるさと自慢

津市は三重県のほぼ中央に位置し、近畿日本鉄道で名古屋市や伊勢市、大阪市へ、「津なぎさまち」から中部国際空港直通の高速船に乗れば世界へアクセス可能な県都です。

古くから伊勢神宮への宿場町として賑わった津市は、市のシンボルともいえる津城跡や、平成29年11月に国宝に指定された300年以上の歴史を持つ高田本山専修寺の御影堂・如来堂など、長い歴史と文化に彩られた街です。

ぜひ伊勢神宮参拝の際は、津市にもお立ち寄りください。



津なぎさまち高速船
[写真提供:津市役所]



如来堂・御影堂
[写真提供:津市役所]

新たな学び

多種多様な人材

続100名城

鰻が安くて美味しい街

派遣元
▼
埼玉県三芳町



融資部
融資課
宮寄 翔平

地方公共団体に大きな影響を与える 貸付利率の算定を慎重に行っています。

融資課では、主に貸付利率算定と貸付審査の業務を担当しています。貸付利率算定業務は、地方公共団体に対して長期かつ低利の資金を融通するべく、収支相償の考え方に基づき利率を算定しています。貸付利率は、資金をお借り入れされる地方公共団体にとって関心度が高い項目の一つであり、長期に影響を及ぼすものであるため慎重かつ丁寧に業務を行っています。

JFMにはプロパー職員の方だけでなく、全国の地方公共団体や総務省からの出向者、金融機関出身の方が在籍しており、さまざまな視点や考え方に触れることができ、充実した日々を過ごしています。JFMでの多くの方とのつながりを大切にし、得た知識などを三芳町での業務に還元していきたいです。

私のふるさと自慢

三芳町は東京都心から30km圏内の埼玉県南西部に位置する、東京から一番近い緑のオアシスです。都心に近い立地ながら、豊かな自然が残り、農業が盛んです。江戸時代に川越藩によって開発された三富新田を代表した自然豊かな風景、そこで育まれたブランド品「富の川越いも」や数々の「みよし野菜」は名産品の一つです。また、9月初旬に行われる「みよしまつり」では、さまざまな催物があり、最後には花火が打ちあがります。埼玉県にお越しの際は、ぜひ三芳町へお立ち寄りください。



広大な緑と歴史的な地割の三富新田
[写真提供:三芳町役場]



みよしまつりの花火
[写真提供:三芳町役場]

貸付利率算定

貸付審査

東京から一番近い緑のオアシス

花火

わたしのジモト

日々の業務や、地元の魅力についてご紹介します。

派遣元
▼
福島県

融資部
融資管理課
渡辺 匠

巨額の貸付金の管理も、先輩方に支えられながら取り組んでいます。

融資管理課では、主に貸付金の管理に関する業務を担当しています。総額23兆円を超える貸付金の管理と金融機関特有の業務や専門用語に最初は戸惑いましたが、充実した研修と先輩方のサポートを受けながら取り組んでいます。全国の自治体が抱えている課題やその取組内容を聞く機会も多いため、派遣元に戻った後の業務に活かすことができると考えています。

JFMには自治体から派遣された同年代の職員が多く在籍しているため、公私ともに交流を深めることができ、とても充実した日々を過ごしています。同僚として同じ職場で働く時間は残り半年ほどとなりますが、このつながりは一生大切にしていきたいと思っています。

私のふるさと自慢

福島県は大きく3つの地方に分かれています。会津地方は、自然と歴史が感じられ、冬はウィンタースポーツが盛んです。中通り地方は、経済の中心でありながら、四季折々の花とおいしい果物を楽しむことができます。浜通り地方は、年間を通して温暖な気候で、「常磐もの」と呼ばれる水産物が名産品です。

他にも9年連続金賞受賞数日本一となった日本酒や、温泉も豊富なため、ゆっくりと各地を巡って魅力を感じてください。



三春滝桜



只見雪まつり

#事業変更等報告書

#繰上償還

#震災からの復興

#福が満開、福のしま。

機構からのお知らせ

派遣職員を募集しています。

人とつながる、世界が広がる

地方公共団体金融機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。地方公共団体金融機構と一緒に働く職員を募集しています。

派遣職員が従事する主な業務は、貸付業務、資金調達業務、地方支援業務です。派遣職員向けに充実した研修制度があります(地方財政と金融に関する研修、資金調達及び資金運用に係る金融知識の習得を目指す宿泊型研修等)。

この派遣は、地方三団体(全国知事会、全国市長会、全国町村会)の斡旋により実施しております。

お問い合わせにつきましては各事務局又は地方公共団体金融機構 経営企画部 秘書役室へご連絡をお願いします。

各事務局または地方公共団体金融機構 経営企画部 秘書役室

Tel.03-3539-2629

ホームページにて、職員派遣についてのパンフレットのPDFを公開しています。トップページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。



JFM 職員派遣

検索

JFMだよりへの掲載希望やご意見を募集しています。

「融資がつむぐまちづくり」及び「がんばる公営競技」では、掲載希望を募っています。本誌への掲載希望や、掲載内容に関するご意見・ご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 経営企画部 企画課 広報担当

☎ 03-3539-2674 ✉ info@jfm.go.jp

20年第100回地方公共団体金融機構 債券の発行にあたって

平成20年8月に発足した地方公共団体金融機構では、資金調達の多様化を進めるため、様々な年限の債券発行に取り組んでおります。今般、平成21年6月以降13年間にわたって発行してきました機構20年債が、9月に第100回という節目を迎えました。20年債は、長期・低利での安定的な資金供給に大きく資するものであり、皆様のこれまでのご協力に、改めて深く感謝申し上げる次第です。

これまで、リーマンショックや東日本大震災といった様々な出来事を経て、足元では、新型コロナウイルス感染症の影響や各国中央銀行の金融政策の動向、ウクライナ情勢等、金融市場を取り巻く環境が大きく変化しております。そうした中において、当機構は、地方公共団体のニーズに積極的に対応して参りました。

地方公共団体では、人口減少・少子高齢化、防災・減災や公共施設・公共インフラの老朽化への対応など、今後も様々な財政需要や資金ニーズが想定され、引き続き厳しい財政運営が見込まれています。

今後とも、地方公共団体の幅広い意見やニーズに寄り添いながら、金融を通じて地方公共団体の財政運営を支援することが当機構の役割と考えています。「金融で地方財政を支え、地域の未来を拓く」という経営理念に基づき、期待される役割を着実に果たして参ります。

引き続き皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



地方公共団体金融機構 理事長 佐藤 文俊

私たちもJFM債
買っています!!



大阪府 豊中市
豊中市 財政課 予算企画係の皆さん

JFM債とは >

JFMが発行する債券です。国債と同等の格付を取得しており、高い信用力を有しています。



豊中市では、これまで定期預金を中心とした運用を行ってきましたが、市場金利が低迷する中、安全性流動性を重視した管理、運用を行うことを基本に、効率的で効果的な運用を行うため、令和3年度に債券運用戦略を策定し、国債・地方債と同等の信用力のあるJFM債を運用対象としました。

本市は、東西南北を網羅する鉄道網をはじめ、空の玄関口・大阪国際空港も立地するなど「交通利便性の良い住宅都市」として発展し、令和3年には市制施行85周年・中核市移行10周年という大きな節目を迎えました。

JFM債の運用益は、市長の掲げる基本理念「未来につなぐまちづくり～「創る改革」とよなか 夢 みらい～」に基づき、取りまとめた6つの政策の柱から成る基本政策に資する取組の充実に活用していきたいと考えています。

編集後記

本号の制作にあたり、ご協力賜りました皆さまに厚くお礼申し上げます。今回は「融資がつぶぐまちづくり」で岩手県宮古市を、「地域のために がんばる公営競技」でポートレース蒲郡をご紹介させていただきました。宮古市では、「うみねこ丸」で三陸の海岸線を周遊しました。当日は霧がかかっていましたが、見所である浄土ヶ浜はとても幻想的で、美しい景色に感動しました。次号のJFMだよりは令和4年12月末に発行となります。引き続きJFMだよりをよろしくお願いいたします。(企画課 垣立)

今号の一句
うみねこ丸
波に揺られて
見る絶景



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く

地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館

〔JFMとは、Japan Finance Organization for Municipalities の略称です。〕